

IMAGINE
THE
FUTURE.

国立大学法人筑波大学
令和5年度職員採用案内





学長メッセージ



国立大学法人筑波大学長 永田 恭介



我々の生きる社会は、国際情勢の不安定化や世界的な気候変動、断続的な物価高騰など、新たな局面を迎えています。激動するグローバル社会の中では、SDGsの実現、グリーン・リカバリー、カーボンニュートラルの推進をはじめとする地球規模の課題が数多く発生しています。一方、人に健康と幸福をもたらす「超スマート社会」を目指して、それらを我が国では *Society5.0* と銘打ち、デジタルトランスフォーメーションが進んでいます。研究学園都市で新構想大学として出発した筑波大学は、先端的な研究教育を展開して、知の国際連携活動拠点としてはもとより、人材育成拠点として、また産官学協働の拠点として発展してきました。その中で本学は、あらゆる面で「開かれた大学」という建学の理念のもと、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現するために、「不断の改革」を進めてきました。

数多くの地球規模課題に直面する現代社会において、我々は目指す大学像を新構想大学から未来構想大学と変え、我が国の大学改革を先導する責任を自覚しています。本学に根ざす人材育成マインドは「師魂理才」と表現されています。師魂理才とは、親や先生のように接する心や人々をまとめる力を持ち、かつ合理的に問題解決を行うことのできる能力を持つことを意味しています。本学のミッションは、師魂理才をもって地球規模課題の解決と未来地球社会の創造に向けた知を創出するとともに、それを牽引するグローバル人材を育成することと考えています。本学は *IMAGINE THE FUTURE.* という言葉に託した未来への想像力を発揮して、創造的であり、個性的であり、国際性豊かな知の拠点としてリーダーシップを発揮し、国際的に存在感のある大学として積極的に発言し、国際社会に貢献していきます。

本学では働き方についても改革を進めています。特に教職協働を推進し、職員がより能動的に研究と教育のマネジメントに参加することで、大学の組織力の向上を目指しています。私たちはこうした活力ある未来志向の大学を支える一員であるとの誇りを強く持ち、共に組織全体を支え合い協力し合える仲間を必要としています。本年に創基 151 年開学 50 周年を迎える本学は指定国立大学法人として活動をはじめ、またスーパーシティに選ばれたつくば市の頭脳としてこれまでの motto を表す *IMAGINE THE FUTURE.* を基盤に、*Beyond the Borders.* という考え方でその実現に挑戦し、*DESIGN THE FUTURE, TOGETHER.* つまり、社会とともに未来社会を創造したいと考えています。法人職員として働くことに意欲を燃やし、高い志や使命感に溢れた方々と働くことを楽しみにしています。

私たちと共に、明日へ向かって歩んでいきませんか？

建学の理念

筑波大学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流関係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。

従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研究の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることをその基本的性格とする。

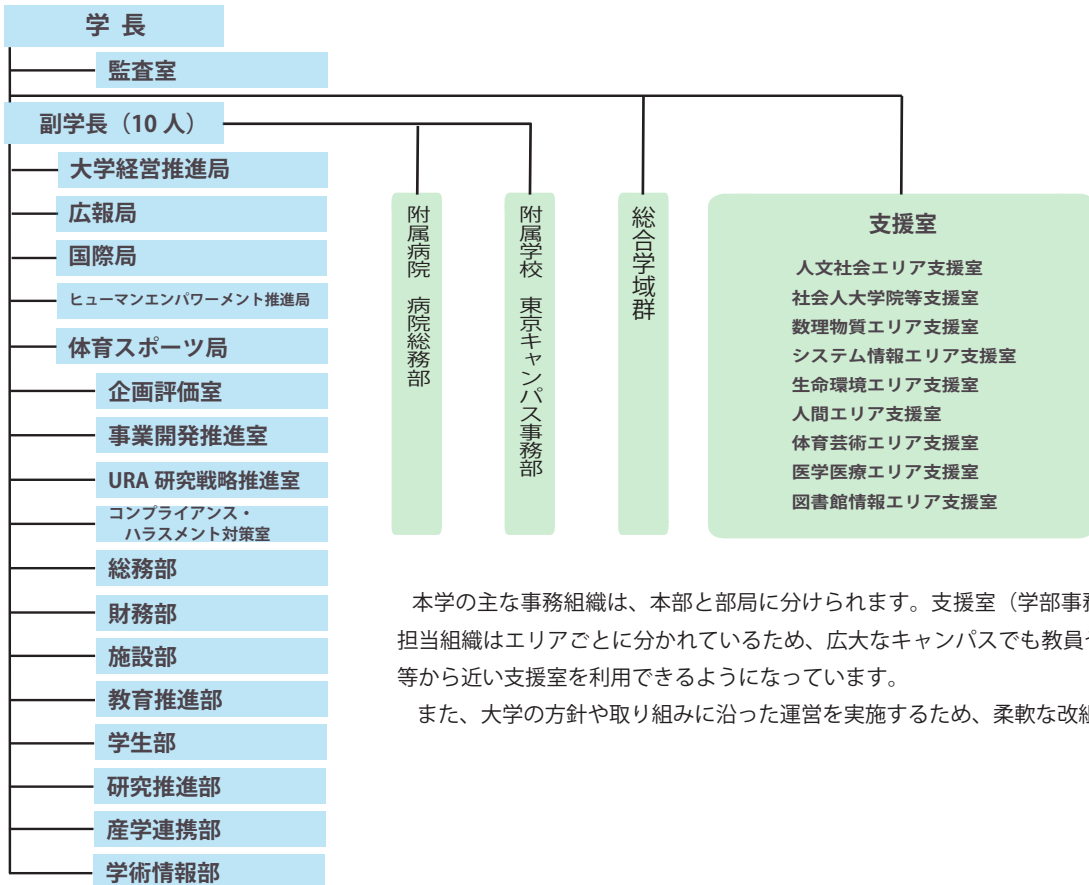
そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。

業務内容

事務職員の業務は、教育支援や学生支援だけでなく、総務、財務、国際、研究支援、学術情報サービスなど多岐に渡っています。また、入学試験、入学式や卒業式の運営など、大学ならではの業務に携わることもできます。さらに、筑波大学には附属病院や附属学校もあり、事務職員の活躍の場は大学だけに留まりません。

<p>企画・広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中期目標・中期計画に関すること ② 企画・調査のとりまとめ ③ 大学評価に関するとりまとめ ④ 広報活動の企画・立案 	<p>学生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学生への各種支援 課外活動、奨学金、授業料免除、学生宿舎、キャリア、ジェンダー、アクセシビリティ ② 学生交流 外国人留学生の受入れ、海外派遣、国際交流プログラムの企画実施 	<p>医療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 附属病院の運営 ② 診察、入院料金の計算や収納 ③ 医療情報の管理 ④ 診療報酬請求 ⑤ 臨床研究支援、臨床教育支援 等
<p>総務・人事</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各種会議や諸行事の運営 ② 法人のコンプライアンス、リスク管理 ③ 職員の採用、昇任、異動、給与、手当 ④ 職員の研修、福利厚生、健康安全管理 ⑤ 公文書類の接受、発送 等 	<p>研究支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 研究推進のための戦略策定 ② 研究情報・研究者情報の管理や公開 ③ 国等による研究費補助金やその他の研究助成金等に関するとりまとめ ④ 学外からの競争的研究資金の獲得やその活用に関する手続き 	<p>学校支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 附属学校等の総括、連絡調整 ② 研究開発・研究企画及び研究成果の広報 ③ 教育課程の管理 ④ 生徒の在籍管理に関すること ⑤ 附属学校等の予算の要求や執行 等
<p>財務・施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 予算の要求や執行 ② 各種物品の契約・購入・管理 ③ 授業料や検定料、入学金等の収入金の出納 ④ 土地や建物等の財産管理 ⑤ 会計の監査や実地検査 ⑥ 学内施設設備の管理保全 等 	<p>国際</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 国際交流の企画や立案 ② 外国の大学等との学術交流 ③ キャンパスの国際化に関すること ④ 海外拠点の設置・運営 等 	<p>産学連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 産学連携の推進(つくば国際戦略特区、つくばイノベーションアリーナ TIA 等) ② 受託研究、共同研究、その他研究に関係する企業等との連携 ③ 知的財産管理 等
<p>教育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教育改革等に係る企画・立案やその支援 ② カリキュラムの編成、履修手続き、修学指導 ③ 学生の入学や卒業等の手続き、学籍管理 ④ 試験の実施や学業成績の管理 ⑤ 教育実習、教育職員免許の手続き 等 	<p>学術情報サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学内ネットワークの管理 ② 情報システムの開発、維持、管理 ③ 図書の貸出や閲覧、複写、検索 ④ 他機関との図書資料の相互利用サービス ⑤ 図書・雑誌の発注、購入、受入 ⑥ 図書の配架、保存、分類、目録の作成 等 	<p>事業開発推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新規事業の開発 ② アソシエイトやホームカミングデーに関すること ③ 基金に関すること ④ ステークホルダー・企業との連携 等

主な事務組織



本学の主な事務組織は、本部と部局に分けられます。支援室（学部事務室のような支援組織）の担当組織はエリアごとに分かれているため、広大なキャンパスでも教員や学生が所属学群・研究科等から近い支援室を利用できるようになっています。

また、大学の方針や取り組みに沿った運営を実施するため、柔軟な改組を行っております。

業務紹介 一般職員



学術情報
サービス

学術情報部アカデミックサポート課
とみた ゆみ
富田 有美
一般職員 令和4年4月採用

現在担当している業務について教えてください

学術情報部に所属し、附属図書館にて、図書の貸出・返却やその他利用者へのカウンター対応、利用者データの管理、延滞者への連絡など、利用者に直接関わる業務を主に担当しています。私の働く中央図書館は、1日に1500人以上が利用する大きな図書館であり、利用者も学生から教職員、一般の方と幅広いため、毎日様々な質問や問題に遭遇します。その度に先輩方に助けをもらいながら対応を学び、利用者が快適に図書館を利用できるように日々心掛けて業務に取り組んでいます。

筑波大学を志望した理由について教えてください

1番の理由は、筑波大学の環境と自分の性格が合っていると感じたからです。筑波大学は文理を問わず様々な分野をあわせもつ総合大学で、そのほとんどの構成員がつくばキャンパスに集まっています。そのため、多様な人やモノに触れられる環境があり、好奇心旺盛な自分にとても合っていると思いました。また、私自身が筑波大学出身のため、つくばの土地に住み慣れている、この場所で働いて暮らしていくイメージを明確に持てたことも大きいです。



図書系業務の魅力・やりがいを教えてください

図書系の魅力は、図書館という唯一無二の機能を通じて研究支援に尽力できることです。大学図書館は研究の支援を主な目的としていますが、毎日たくさんの学術資料が貸出・利用されているのを見ると、様々な研究活動を支えているんだな、という実感があります。そして、より適切に整備・提供するためにはどうすればいいか、日々試行錯誤をすることにやりがいを感じています。また、人のよさも魅力の1つです。図書館で働く職員は穏やかな人が多く、勤務中も適度にコミュニケーションを取りながら楽しく働いています。



財務

財務部財務企画課
かのみ たくま
鹿又 暎
一般職員 平成31年4月採用

現在担当している業務について教えてください

財務部財務企画課にて、大学内の予算編成や、次年度予算の概算要求業務に従事しています。具体的には、学内の教育研究等が円滑かつ十全に実施していけるよう当初予算・補正予算を編成し、適切な予算配分および予算管理を進めています。概算要求業務では、学内の担当教員・担当事務者・文部科学省の担当者と一緒に、筑波大学としての強みを生かした取り組みをブラッシュアップしながら、財務省へ予算要求をしていきます。また、文部科学省のみならず、学内外の組織からの照会の回答作成や調書作成も日常的に行っています。

職場の雰囲気について教えてください

明るく、和気あいあいとした雰囲気の中で仕事をしています。わからないところや困ったことがあれば聞きやすい環境です。一方、打合せ等の時はメリハリをつけて、肅々とした空気感の中で議論することもあります。お昼の休憩時には同じ部署の人と外出して昼食をとるなど、仲の良い職場であると思います。職場環境的には、執務室の採光等もよく、窓からは木々や青空も見えるため、広々とした印象です。



業務後や休日はどのように過ごしていますか

業務後には、家で読書をしたり、体を動かしたくなる時はランニングをするなどして過ごしています。事務仕事なので、運動するといふフレッシュになると感じています。週末には、職場の友人と遊びに行ったり、互いの部署の様子や仕事内容などについて意見交換するときもあります。休日は、好きなバンドのライブに行ったり、登山したり、冬はスノボに行くなどと趣味の時間に充てることが多いです。筑波大学には多くの教職員の方がいて、似た趣味を持つ方たちと世代を超えて交流でき、充実した時間を過ごせると感じています。



教育支援

システム情報エリア支援室
(大学院教務)

さいとう
齋藤

もか

一般職員 令和3年4月採用

現在担当している業務について教えてください

大学院学生の学籍、履修、成績、授業料や非常勤講師の管理など、学生や教員と直接の関わりが多い業務に従事しています。窓口対応ばかりではなく、データ作業もかなりの業務量を占めるため、効率良く作業を進められるように日々奮闘しています。学群教務と何が違うのか、と疑問を持つ方もいるかもしれませんが、基本的には似ている部分が多い印象を受けます。しかし、年間の中で複数回実施される入試を出願から全て主体となって実施したり、大学院学生の修了に関わる学位論文審査に関連する業務は、大学院教務ならではの業務ではないかと思います。

筑波大学を志望した理由について教えてください

大学生活は自由に好きなことに取り組める時期であり、これからの人生を決める大切な時期でもあります。自分自身が大学生の時にその貴重さを感じたため、そのような貴重な時間を過ごす環境を支える仕事にやりがいを感じました。また、就職先を選ぶ上で、一緒に働く方の人柄をととても大事にしていたこともあり、職員の皆様の穏やかで温かい雰囲気に大きな魅力を感じ、筑波大学を志望しました。



日頃心がけていることや、やりがいを教えてください

自分自身が学生の時に教務の方の対応が丁寧だととても嬉しかったため、同じように丁寧に対応しようと心掛けています。元々人と関ることが好きだったこともあり、直接学生や教員と関わりながらお仕事ができることは大きなやりがいです。入試や学位論文審査などの業務は、責任を伴う一方で、大学職員だからこそその業務であり、貴重なのではないかと思います。また、私は学生の時に Excel をほとんど使用しておらず入職当初は学びの連続でしたが、徐々に業務効率化ができるようになり、成長とやりがいを感じます。



医療支援

病院総務部管理課

しばた あつひと

柴田 充人

一般職員 令和4年10月採用

現在担当している業務について教えてください

病院総務部管理課で契約管理業務に携わっています。主に、実際に病院で使用される医療用医薬品や検査用試薬などの調達や価格交渉、医師や薬剤師の方との会議運営等を担当しております。また、院内だけでなく外部の業者の方と打合せをする機会も頻繁にあり、業務内容は多岐にわたります。私自身、病院で働くことは初めての経験で、今まで聞いたことがない言葉や専門知識が多く戸惑うこともあります。同僚や上司にサポートしてもらいながら日々奮闘しております。

附属病院で働く魅力・やりがいについて教えてください

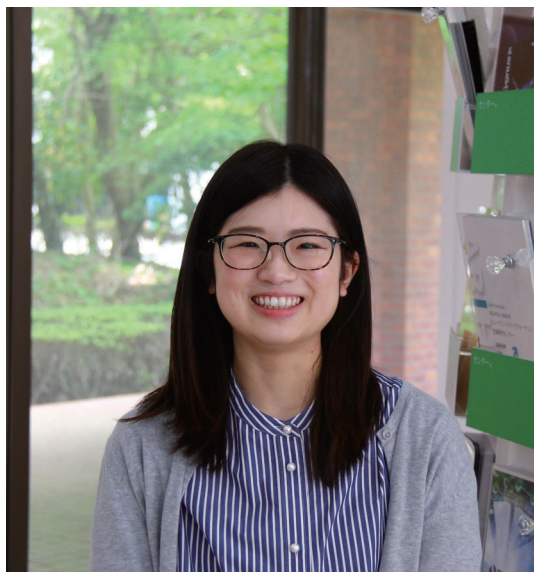
直接的ではありませんが、医療に携われる業務ができることが魅力だと思います。現場の最前線で働く方の努力により患者さんが信頼できる病院になっていますが、私たち事務もより良い医療の提供に貢献できると考えています。一人ひとり業務内容は異なりますが、病院全体に与える影響は大きいです。病院でしか経験できないことも多く、責任感を持って業務に取り組んでいます。



大学職員を目指す方へのメッセージ

私は民間企業に4年間勤務し、昨年、筑波大学に入職しました。異なる業界から入職したため、慣れないこともありますが、周囲の方は温かく良い職場環境だと思います。また、ワークライフバランスを充実させることを自分自身のテーマにしており、勤務時間は集中して仕事に取り組み、退勤後や休日は教職員サッカーに参加したり、趣味に打ち込んだりしています。仕事もプライベートも充実させたいという方におすすめです！皆様と一緒に働ける日を楽しみにしております。

業務紹介 一般職員～主幹



研究支援

研究推進部研究企画課

えんどう ちの
遠藤 智乃

一般職員 平成 28 年 4 月採用

現在担当している業務について教えてください

国際関係と予算関係 2 種類の業務を担当しています。国際関係の業務では、主に日本学術振興会の国際交流事業について、申請をとりまとめたり、採択された課題の計画書・報告書の内容確認や採択開始前後の諸手続きについて、日本学術振興会の担当者や学内の支援室担当者と調整を行ったりしています。予算関係の業務では、主に文部科学省へ要求する運営費交付金の概算要求や学内予算要求のうち、研究にかかる予算について、課内や財務部・要求部局との調整を行っています。

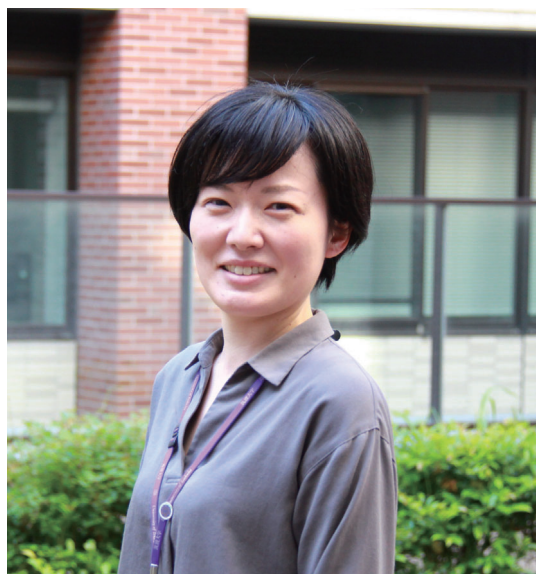
日頃心がけていることややりがいについてお聞かせください

国際関係の業務は、日本学術振興会での研修の際に得た知識や経験を活かすことができるため、やりがいを感じます。できるだけ多くの先生方に申請いただいたり、採択後もスムーズに研究を行っていただくために、事業の変更点や手続きの流れを事前に把握しておくように努めています。予算関係の業務は、これまで担当したことがなく、手探りの状態ですが、困ったことがあれば早めに上司に相談し解決するようにしています。



日本学術振興会での研修経験について教えてください

日本学術振興会での 2 年間の研修では、1 年目は東京本部の国際事業部での業務、2 年目は日本学術振興会のサンフランシスコ海外研究連絡センターで業務を行いました。他大学の職員と交流できたり、海外センターの運営業務全般に関わることができるなど、とても充実した内容の研修でした。特に海外センターでの研修では、米国大学と共催でのシンポジウム開催や、SNS を活用したセンターの広報などといった幅広い経験を得ることができ、自身の対応できる業務内容が広がったと感じています。



総務

社会人大学院等支援室(総務)

おぎわら
荻原 ゆりか

主任 平成 28 年 4 月採用

現在担当している業務について教えてください

社会人大学院等支援室で総務を担当しており、主に教員や非常勤職員の任用手続き、勤務時間の管理及びビジネスサイエンス系の会議運営等を行っています。総務の仕事は、規則に則った対応を求められることが多く、日々学内規則と向き合いながら勉強中です。また、大学職員という、教員の先生方や学生さんを支援する仕事、という側面が大きと思いますが、総務の場合は、自分と同じ職員の支援も重要な仕事の一つであるため、窓口として様々な申請や相談に対応しながら、支援室職員が働きやすい環境づくりを心がけています。

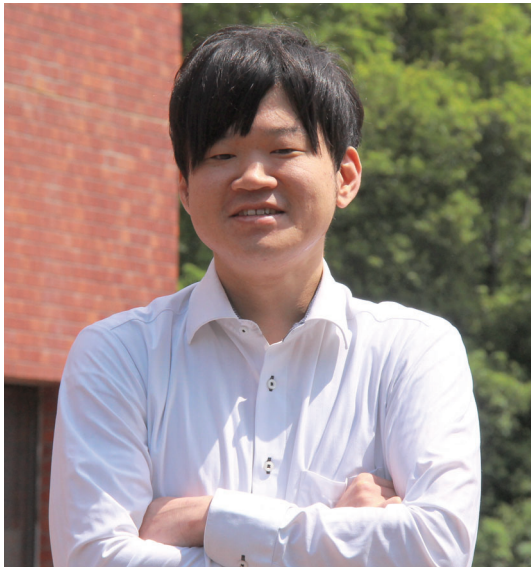
職場の雰囲気について教えてください

東京キャンパスがある茗荷谷は、近くに学校が複数あり、学生が多い街です。とは言っても賑やかなわけではなく、キャンパスの周りは緑に囲まれており、都心でも落ち着いた雰囲気です。支援室は総務の他、会計・研究支援・教務等で構成されており、他担当とも関わりながら仕事をすることが多いのですが、同じ部屋ということもあり、相談がしやすく連携も取りやすく、風通しが良い職場だと感じています。



業務後や休日はどのように過ごしていますか

休日は普段できない部屋の片付けをしたり近くの街を散歩したり、予定が合えば友人たちと出かけたり、基本のんびり過ごしています。また業務前になるのですが、当支援室は社会人学生向けのため、シフトによって昼過ぎから勤務開始になることがあり、そういった日は午前中に家事をしています。平日の天気の良い日に朝から洗濯できると結構気分が良く、一仕事終えた感じで出勤前からすっきりできます。



企画・広報
 大学経営推進局
 どい しんじ
土居 新治
 係長 平成 23 年 9 月採用

現在担当している業務について教えてください

主に国際卓越研究大学制度への申請を担当しています。国際卓越研究大学制度とは、国が運用する 10 兆円規模の基金（いわゆる大学ファンド）による運用益を原資として、同制度に認定された大学に大規模な財政支援を行う文部科学省の公募事業です。同制度に認定される大学は数校程度と予定されており、狭き門ではありますが、役員の先生方や関係教職員とともに、同事業への応募に必要な今後数十年先を見据えた筑波大学の将来構想の立案と、その実現に向けた計画策定に携わるという貴重な経験をさせていただいています。

最も印象に残っている業務についてお聞かせください

最も長い時間（6年間）を過ごした教育推進部での諸業務が印象に残っています。多くの新しい業務課題と対峙しながらも、どうしたら本学の教育が良くなるかということについて、関係の先生方や職員と教職員の垣根なく日常的に議論を交わしていました。中でも、大学全体の教育の質のマネジメントや大学院の組織改革に関する取組は、先進事例として学外から注目される機会も多く、私も貢献できたことを嬉しく感じています。



大学職員を目指す方へのメッセージをお願いいたします

私自身は、これまで現場の支援室、大学本部、文部科学省と様々な立場から大学運営の実務に携わってきました。また、文部科学省主催の 10 か月間の海外研修（アメリカ）に参加したり、働きながら大学院で修士号を取得したりするなど、国際的・学問的な経験も積ませていただきました。その結果、入職時は右も左も分からない状態でしたが、今では大学や大学職員についてそれなりに語れるようになりました。筑波大学には意欲のある方の成長を後押しする機会がたくさんあります。大学と一緒に成長していける方をお待ちしています。



総務
 学生支援
 体育芸術エリア支援室
 いわみ さなえ
岩見 早苗
 主幹 平成 9 年 10 月採用

現在担当している業務について教えてください

令和 4 年 4 月から体育芸術エリア支援室で勤務しています。支援室は大きく分けると 7 つの担当があり、そのうち 3 つの担当（総務、学生支援、エリア・コモンズ）を取りまわっています。本部とは違い、教員や学生との直接のやり取りが多く、また、個々のケースにあった対応が求められるため、各担当とよりよい対応策を一緒に考えたり、複数の担当に関わる内容については、担当間の調整を行っています。他にも、支援室として対応しなければならない事案が発生した場合には、エリア支援室長と一緒に対応しています。

筑波大学の魅力についてお聞かせください

筑波大学は、医学、体育、芸術分野がある総合大学です。私が所属しているところは、名前のとおり「体育」と「芸術」に関わる教員と学生が在籍しています。教員の中にはオリンピックでメダルを取られた先生がいたり、在籍する学生も、全国レベル、世界レベルで活躍しています。また、11 の附属学校があることから、特別支援教育、初等中等教育から大学院教育まで幅広い教育に触れることができる魅力のある大学です。



新人職員に求められる資質・姿勢は何でしょうか

大学というと、学生支援、研究支援を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、実際に働いてみると、仕事の幅の広さを実感いただけると思います。そのため、まずは何でもトライしてみようというチャレンジ精神と行動力が求められると思います。もちろん、初めて行う業務に戸惑いもあるかと思いますが、分からなければ一人で抱え込まずに素直に上司や先輩に相談してみてください。必ず相談にのってくれると思います。

業務紹介 課長～部長



教育支援

教育推進部グローバル教育院
こやま こうじ
小山 耕次
課長 平成5年4月採用

筑波大学の改革はまだまだ道半ばです。私たちと一緒に仕事をしてみたいという方はぜひ力を貸してください。そして皆さんの新しい発想で筑波大学の50年後、100年後を見据えて一緒に歩いていきましょう。

最も印象に残っている業務について教えてください

私はここ20年ほど教育に携わってきましたので、教務事務の話をしたと思います。大学の教育は研究と並んで大学の発展に直接かかわってきます。教務事務は、入試から始まり、入学～卒業 / 修了までの在籍管理、授業実施のサポートや会議運営など多岐にわたりますが、国の政策に合わせて大学の制度改革を行うような業務もあります。私はこれまで、国立大学の法人化、2学期制（6モジュール制）の導入、英語プログラムの開設など国の政策に合わせて様々な業務を経験してきました。最近では令和2年度に行った大学院全体を学位プログラム化するという業務が強く印象に残っています。

これは「研究科・専攻」という教育システムを「学位プログラム」という新しい教育システムに移行するというものですが、この改革には5年を超える検討がなされました。また、文部科学省に申請する書類もプリントアウトすると六法全書のA4版が20冊以上にもなるほどのボリュームとなり、これを作成するには膨大な作業を要しました。この資料を文部科学省に運び込んだ瞬間の達成感や解放感もさることながら、関わられた方々の思いを考えると感慨深いものがありました。

大学職員を目指す方へのメッセージ

筑波大学は今年で開学50周年を迎えます。本学は国立大学では一番末っ子ですが、大学改革を常に先導しているという自負があります。もちろんプレッシャーはありますが、私たちは前を向いて進んで行くことにやりがいを感じています。



筑波大学今昔物語をお聞かせください

私が採用されたのは平成3年4月で、最初は学務部（現在の教育推進部）に配属され、教育課程の編成などを担当する係でした。ちょうど「大学設置基準の大綱化」と呼ばれる大きな改革期で、筑波大学の特色を残しつつ、新たな基準に対応できる教育課程とするための検討会議が夜遅くまで行われていました。私は、上司の手書きのメモを判読しながら、新しい科目編成や履修ルールに関する資料作りをしていたことを覚えています。

仕事はそれなりに忙しかったわけですが、まだ隔週で土曜日の半日勤務があり、その日だけは少し自分の時間が取れました。そして午後になると、先輩方に学内のコートでテニスを教わったり、外にもスキーや山登りにも行ったりするなど、仕事以外でもいろいろと交流させていただきました。

新人職員に求められる資質・姿勢は何でしょうか

私の印象では、パソコンや語学に関するスキルは既に身に付けておられる方が多く、また、業務への順応性も高いように思います。敢えてお願いするとすれば、一見必要がないと思える情報にも関心を持っておくということでしょうか。今は、業務上のマニュアルも整備され、それに従えば、大概のことは処理ができてしまいます。しかし、担当業務が大



学生支援

学生部
なかざわ あきお
中澤 秋夫
部長 平成3年4月採用

学の教育研究の支援業務においてどのような役割を果たしているのか、根拠とされる規則には何が定められているのか、といった点にまで遡ることは意外になされていないように思います。

入職後、幾つかの職種を経験するような人材育成方針となっていますから、その都度、学ぶことは多いと思います。そこで得た知識と経験は、自身の基盤になるとともに、将来、どの分野で自分の能力を発揮してみたいのか、より具体的に導いてくれることと思います。

人材育成・キャリアパス・能力開発

◇人材育成

急激に変化する社会環境と、高度多様化する業務に的確に対応しながら本学に求められるミッションを達成していくためには、職員の一層の向上を図り、職員一人ひとりが能力を最大限発揮することが重要です。

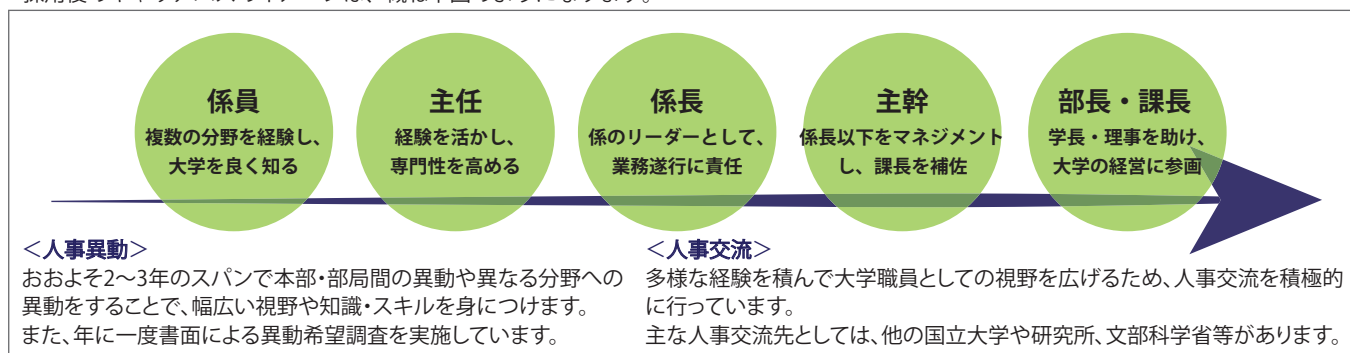
本学では長期的かつ総合的な観点から職員の能力開発を効率的に図るため、本学の目指す職員像を明確にし、職員の人材育成に取り組んでいます。

本学の目指す職員像

- ① 当事者意識と責任感のある職員
- ② コスト意識を持ち迅速な行動ができる職員
- ③ 課題解決および論理的思考ができる職員
- ④ 行動力がある職員
- ⑤ コミュニケーション力がある職員
- ⑥ ICT(情報通信技術)の活用による業務改善を推進できる職員
- ⑦ 国際性を有する職員

◇キャリアパス

採用後のキャリアパスのイメージは、概ね下図のようになります。



◇能力開発(研修・自己啓発)

本学は、職員一人ひとりが求められる責任や能力に対して、自ら考え必要とする能力を習得するため、OJT(On the Job Training) や Off-JT(Off the Job Training) による能力開発の機会を提供するとともに、自ら進んで能力の向上に資する意識を醸成するため、SSD(Self-Staff Development) への取り組みを推進・支援します。

特に、採用からの3年間を人材育成重点期間とし、職員の能力開発に取り組んでいます。また、その後も一般職員から管理職まで、在職期間に応じた能力開発を提供し、求められる責任や能力に対して常に最大のパフォーマンスを発揮できるように能力開発の充実を図っています。

＜人材育成重点期間研修＞

- ・基礎研修(学長講話、業務内容説明、メンタルヘルス、事務用情報システム等)
- ・ビジネス・コミュニケーション研修 ・ロジカルシンキング研修
- ・クリティカルシンキング研修 ・タイムマネジメント研修 ・ステップアップ研修
- ・振り返り研修 ・学内教育研修施設見学実習 ・特別支援学校見学研修

＜その他の研修＞

- ・階層別研修(主任、係長、主幹、課長昇任時研修 等) ・情報化研修(Excel、Access 等)
- ・中核人材育成研修 ・OJT リーダー研修 ・評価者研修

＜国際性の日常化＞

日本人、外国人を問わず、学生と教職員が世界の一員であることを日常的に実感することが出来る「国際性の日常化」を目指すために本学では、32歳までの職員を「語学力強化育成期間職員」とし、また、40歳までの職員を「準ずる職員」として位置づけ、語学力向上に有効な研修の受講を推進しています。

職員の語学力及びグローバル・リテラシーの向上を奨励するために以下の研修が設けられています。

- ・スキル別英語研修(「初級」「中級」「上級」(ビジネス英語クラス含む)) ・TOIEC IP テスト実施
- ・SDセミナー/英語セミナー ・留学生と職員の英会話パートナー研修 ・海外短期派遣研修
- ・国際業務研修(国際業務を行う部署で、職員を研修生として受入れ、実務トレーニングを実施)

＜能力開発支援プログラム＞

職員の知識や能力の習得を促進するとともに職員の主体的な能力開発に対する意欲の向上を目的とし、資格等取得、社会人大学院入学等の経費を支援する制度があります。

＜海外研修＞

文部科学省および日本学術振興会による国立大学法人等の事務系職員を対象とした海外研修へ参加する機会もあります。研修を通して国際交流に関する幅広い知見と高度な実務能力を有する職員の養成を図り、大学における国際交流事務の充実に資することを目指しています。



勤務条件・福利厚生

◆勤務条件

<給与>

筑波地区 213,700 円～ (月額)

東京地区 221,600 円～ (月額)

※職歴等を考慮し決定。

<諸手当>

一定の条件を満たす場合は、次の手当が支給されます。
(扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当、
時間外勤務手当 等)

<勤務地>

筑波地区が中心になりますが、東京地区や各附属学校、
共同研究施設等の勤務もあります。

<勤務時間>

8 時 30 分～ 17 時 15 分 (休憩時間 60 分間)

※勤務場所によっては、上記と異なる場合があります。

<休日休暇>

・休日 土日、祝日、年末年始

・休暇

年次休暇

(1 年につき 20 日間付与、4 月に新規採用の場合は 15 日間付与)

病気休暇 (病気等により療養が必要な場合)

特別休暇 (夏季、結婚、出産、忌引、ボランティア等の場合)

夏季一斉休業等 (お盆時期の 1 週間程度)

産前産後休業 (出産前後の 8 週間ずつ取得可能)

育児休業 (子供が 3 歳になるまで取得可能)

その他介護休暇等

※勤務場所によっては、上記と異なる場合があります。

◆福利厚生

<文部科学省共済組合>

社会保険 (年金・健康保険) にあたる保険が完備されています。

給付 (病気、けが、出産等)、積立貯金、貸付などを受けられます。

その他、宿泊施設や保養施設等の利用もできます。

<宿舎>

つくば地区のみ、世帯用の宿舎があります。

<保育所>

筑波キャンパスの敷地内に、教職員専用の保育所が設置されています。

<健康管理>

筑波キャンパスに保健管理センターが設置されており、健康相談等を行っています。

<学内施設>

筑波キャンパスには中央図書館と 3 つの専門図書館があり、職員も利用可能です。また、テニスコートやグラウンド、体育館や屋内プール等の各種スポーツ施設を利用することができます。

その他、食堂、喫茶、書店などの厚生施設も充実しています。



本学におけるダイバーシティ

筑波大学は、ジェンダー、セクシュアリティ、国籍、年齢及び障害の有無にかかわらず人間の可能性とダイバーシティを尊重する文化の醸成に努め、すべての職員が働くことに誇りと喜びを実感できる大学作りに努めています。2023 年 1 月に設置された、ヒューマンエンパワーメント推進局では、学生と職員のひとりひとりがお互いを尊重し、それぞれの能力を最大限発揮できるよう、障害のある学生への修学支援・職員への合理的配慮推進・学生等のキャリア支援・LGBTQ+等支援・ライフイベントと仕事の両立支援等を行っています。

また、本学は「子育てサポート企業」としてくるみんマークを取得しており、仕事と子育ての両立を積極的に支援するとともに、任意団体 work with PRIDE が策定した職場での LGBTQ+等に関する取組評価指標「PRIDE 指標」において、最高レベルの GOLD を国立大学で初めて受賞し、2022 年までに 5 度受賞するなど、多様な人材が活躍できる環境作りに努めています。



指定国立大学法人の指定

本学は、第4期中期目標期間（令和4～9年度）における指定国立大学法人の指定を受けています。指定国立大学法人とは、文部科学大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を指定するものであり、指定を受けた大学は、国際的な競争環境の中で世界の有力大学と伍していくことが期待されています。また、そのための規制緩和として、大学発ベンチャー（大学の研究成果を活用して商品等の開発・提供を行う事業者）への出資が可能となるなどの特例が認められています。

■指定国立大学法人筑波大学の目指す大学像

各々の学問分野の強化や分野横断的な協働の推進に留まらず、新たな学問分野を創成することで、地球規模課題を解決する「真の総合大学」へ発展することを目指しています。また、そのために「Beyond the borders.」をスローガンに掲げ、指定国立大学法人としてのガバナンスと財務基盤の強化とともに、①学問分野の壁を超える研究力強化、②国境や組織の壁を超える人材育成、③地球規模課題の解決に資する研究成果の社会実装の3つの戦略を達成するための取組を進めています。



スーパーグローバル大学

本学は、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されており、世界トップレベルの大学との交流・連携により国際競争力を加速するための取組を推進し、国際化を徹底して進めています。

SGU構想の鍵となる Campus-in-Campus (CiC) では、CiC協定を締結した海外のパートナー大学との間でキャンパス機能を共有し、国境や機関の壁を越えた教育研究交流を実現する取組が着々と進められています。

本学のSGU事業が目指すもの

モビリティを飛躍的に高め、すべての学生・教員・職員に国境や機関の壁を越えた武者修行をさせたい。



国境や機関の壁を越えて、世界中の資源を積極的に活用した教育研究を実施したい。



■教員と職員の共同により事業を展開

例えば、教員と職員と一緒に CiC 協定校へ海外出張し、学生の派遣・受入れプログラムの実施のため企画・立案を行います。

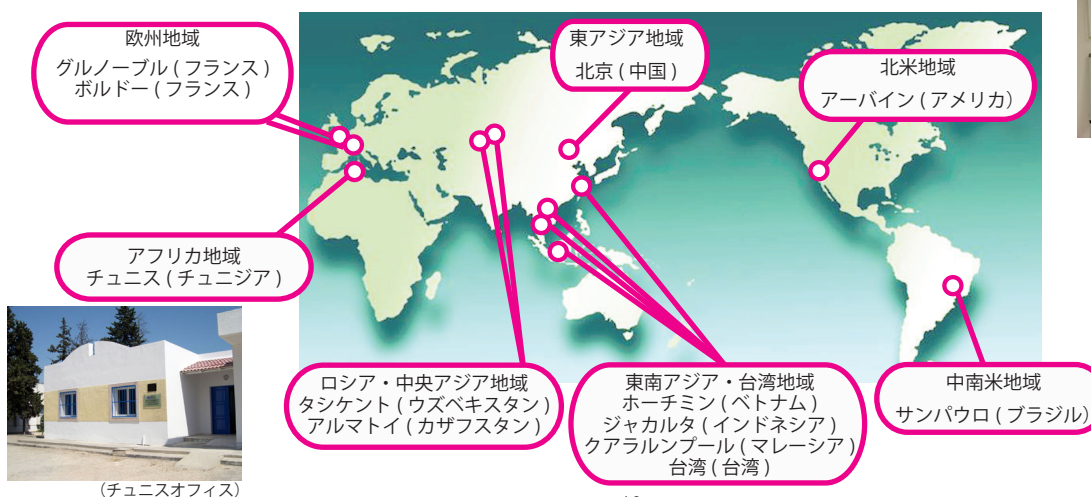
■世界トップレベルを目指す大学を支える事務職員の育成

CiC 協定校と共同で職員の実務研修を行います。CiC 協定校へ1週間程度滞在し、先進的な取組事例や教育システムを学ぶとともに、職員相互の理解を深め、国際化に対応する職員の資質を高めています。

現在、CiC協定校は10校（国立台湾大学、ボルドー大学（フランス）、カリフォルニア大学アーバイン校（米国）、サンパウロ大学（ブラジル）、マレーシア工科大学、ユトレヒト大学（オランダ）、グルノーブル・アルプ大学（フランス）、オハイオ州立大学（米国）、ボーフム大学（ドイツ）、アラファラビ・カザフ国立大学（カザフスタン））であり、13校を目指して新たな CiC 協定校の開拓を行っています。

海外拠点

筑波大学の教育研究活動等における国際連携を推進するため、海外拠点を13箇所設置しています。海外拠点の各オフィスでは、本学の国際戦略に基づき、各地域における学術交流の推進、学生交流の支援、優秀な留学生の確保、同窓会ネットワークの構築支援などの業務を行っています。



(チュニスオフィス)



(台湾オフィス)



(クアラルンプールオフィス)

採用情報

◇採用試験（国立大学法人等職員採用試験）

<採用予定数>

事務20名、図書2名、電気2名、機械2名、建築2名、電子・情報1名、農学1名

<応募受付期間>

令和5年5月10日(水)10時00分～5月24日(水)17時00分

※国立大学法人等職員採用試験 HP から申込みください。

<受験資格>

平成5年(1993年)4月2日以降に生まれた者

<第一次試験日>

令和5年7月2日(日)

※第二次試験日については筑波大学 HP(<https://www.tsukuba.ac.jp/about/jobs-information/>) に後日掲載します。

<採用担当>

総務部人事課(事務系任用)

Address: 〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL : 029-853-2091 / 2090

E-mail : sj.ninyo2@un.tsukuba.ac.jp

※最新情報は、筑波大学 HP や国立大学法人等職員採用試験 HP をご確認ください。

※筑波大学では、このほかにも「民間企業等経験者からの登用試験」や「本学非常勤職員等からの常勤登用試験」を実施しています。

◇Q&A

Q. 採用前の研修や必要となる資格等がありますか？

A. 採用後、新規採用職員研修の他に、情報化研修や英会話研修など、業務の必要に応じて様々な研修が用意されていますので、採用前の研修は実施されていません。また採用前に必要な資格等もありません。

Q. 選考の際、県外在住であったり、筑波大学出身ではないことは不利になりますか？

A. 受験者の人柄や適性を総合的に判断して選考を行っていますので、そういったことが選考に影響することはありません。茨城県外や他大学出身の職員も数多く在籍しています。

Q. 勤務場所はつくば市のみでしょうか？

A. 勤務場所は筑波キャンパスが中心となりますが、東京キャンパスや附属学校、共同研究施設等もあります。希望すれば海外拠点で勤務するチャンスもあります。

Q. 職場の状況や雰囲気について教えてください。

A. 男性と女性の比率は、約5：4です。また育児休業を取得する職員も多く、職場復帰後も多くの職員が活躍しています。職員は皆さん親切で、明るく活気あふれた働きやすい雰囲気です。

Q. 事務職員はデスクワーク中心の業務でしょうか？

A. デスクワークのみならず、他部署と連携をとって進めていく業務や、企業・他機関に訪問し、調整をしていく業務もありますので、大学内だけでなく、様々な人と関わることのできる職場です。

Q. 語学力は必要でしょうか？

A. 大学としてグローバル化を推進しているため、語学力が必要とされる機会は増えています。英会話研修など、語学力向上のための研修もあり、採用後語学力を伸ばす機会が用意されています。

Q. 勤務地や職務分野の希望を述べる機会はありますか？

A. 年に一度、書面による異動希望調査が実施されます。ただし、実際の異動は希望だけではなく、能力や適性等を踏まえて決定しますので、希望の部署に配属されるとは限りません。

参考資料

◇数字で見る筑波大学

(令和5年5月1日現在)

<p>16,655(人) 総学生数</p> <p>学群学生 9,635人 大学院生 7,020人</p>	<p>3,989(人) 11 附属学校児童・生徒数</p>	<p>2,399(人) 外国人留学生数</p>
	<p>214(社) 大学発ベンチャー 設立累計社数 【活動中の企業】159社</p>	<p>13,116,694(m²) 総敷地面積</p>
<p>8,858(人)</p> <p>常勤教職員 5,395人 非常勤教職員 3,463人</p>	<p>3(人) ノーベル賞受賞者数</p>	<p>95(個) オリンピック・パラリンピックのメダル獲得数 オリンピック 金メダル 6個・銀メダル 9個・銅メダル14個 パラリンピック 金メダル16個・銀メダル24個・銅メダル26個 (昭和48(1973)年以降に本学(附属学校含む)の学生(卒業生・修生を含む)、教職員が獲得した数)</p>

◇アクセス

筑波キャンパスへのアクセス

【電車】

・つくばエクスプレス
「つくば」駅から関東鉄道バス
「筑波大学循環バス(右回り・左回り)」に乗車(約15分)

・JR常磐線

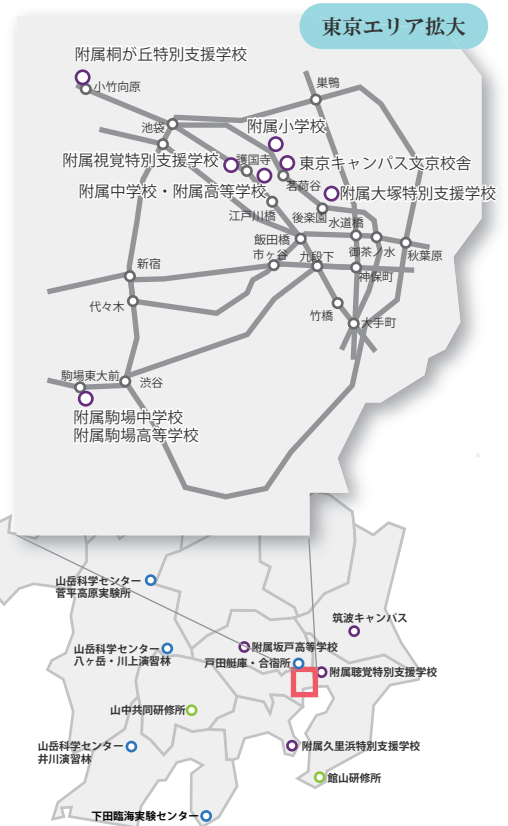
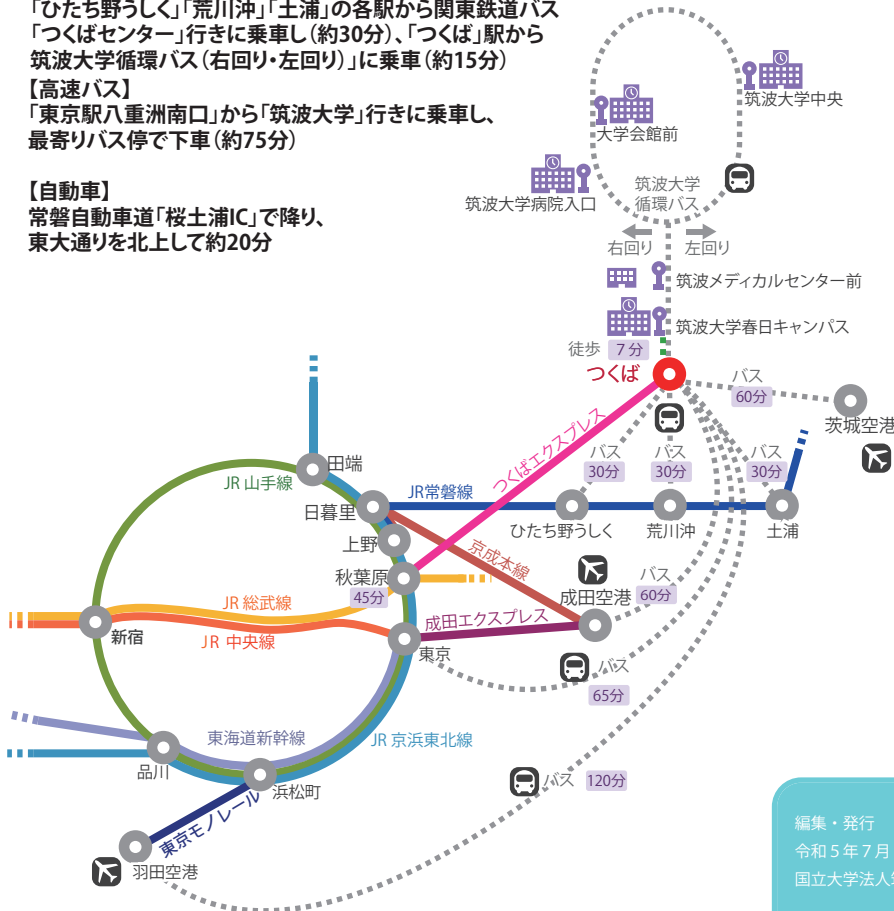
「ひたち野うしく」「荒川沖」「土浦」の各駅から関東鉄道バス
「つくばセンター」行きに乗車し(約30分)、「つくば」駅から
筑波大学循環バス(右回り・左回り)」に乗車(約15分)

【高速バス】

「東京駅八重洲南口」から「筑波大学」行きに乗車し、
最寄りバス停で下車(約75分)

【自動車】

常磐自動車道「桜土浦IC」で降り、
東大通りを北上して約20分



編集・発行

令和5年7月1日発行

国立大学法人筑波大学総務部人事課 金澤、鯉淵

※本冊子に掲載の情報は、とくに注意書きの無い限り、令和5年5月現在のものです。



筑波大学

University of Tsukuba



国立大学法人筑波大学令和5年度職員採用案内
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

www.tsukuba.ac.jp